

ナイロビ市キアンビウ・スラムにおける女性と若者のための
コミュニティ平和構築事業 第1期
事業内容、事業の効果に関する写真



1. 国際平和デー。子供たちをはじめとする住民と JCCP スタッフが平和を呼びかけて行進している様子。(2015年9月)



2. 国際平和デーでは、キアンビウ地区長や警察、地域リーダーおよび地元の若者が参加したサッカー大会も開催した。これは、スポーツを通じて、異民族間の相互理解や住民と治安関係者との仲を深めることで、信頼関係を高めることを目的としたもの。写真は表彰式の様子(2015年9月)



3. 住民男女 600 名を対象にした治安に関する 3 日間の啓発イベントの様子。1 日目は女性 200 名が参加した。JCCP が明確化した犯罪多発地区の説明や出席者も参加型の被害状況・治安に関する討議を行い、同地区の治安に関する意識を高めた。(2015年10月)



4. 3 に同じく、住民 600 名を対象にした治安に関する 3 日間の啓発イベントの様子。2 日目は男性 200 名が参加した。加害者側になりやすい男性にも啓発を行うことで、女性や子供に対する暴力を防ぐことを目的としたもの。(2015年10月)



5. 女性視点の治安調査メンバー (WSAM) とコミュニティ・カウンセラー (CA) および上級カウンセラー (SC) に対する経済自立基礎研修を実施。写真はケニアでは主食とされているトウモロコシ粉や雑穀粉を生産



6. JCCP が以前より活動しているマザレ・スラムで、早期警戒・早期対応を担当しているセキュリティ・フォーカル・パーソン (SFP) および CA とキアンビウ・スラムで活動を行っている WSAM・CA・SC との

ナイロビ市キアンビウ・スラムにおける女性と若者のための
 コミュニティ平和構築事業 第1期

し、販売をしている女性コミュニティ・アニメーター（CA）。彼女は研修で販売戦略や会計記録の手法を習い、ビジネス拡大に成功した。

経験共有フォーラムの様子(2014年10月)



7. CA と SC に対するカウンセリングにおける紛争管理研修の様子。紛争被害および加害者に対するカウンセリング手法を学ぶことで、CA や SC がより効果的なカウンセリングを提供することを目的とした。写真は紛争の因果関係に関してグループに分かれて図解している様子。(2016年1月)

8. キアンビウの4地区でWSAM と CA/SC の心理社会支援（PSS）チームが行ったジェンダーに基づく暴力の啓発イベントの様子。この啓発ではWSAM と PSS チームが4グループに分かれて、各地区でメガホンを持って巡回し、暴力に関する啓発を行い、また事件の報告や情報も集めた。(2015年11月・12月)



9. 尊厳回復キット 1,000セットを9歳以上の女兒に配布したイベントの様子 (2016年1月)

10. 配布した尊厳回復キットの中身。生理用品・下着・石鹸・懐中電灯・笛・ボディクリームその他、被害にあった際のカウンセラーや病院の連絡先が記載されたリストを配布した。(2016年1月)



ナイロビ市キアンビウ・スラムにおける女性と若者のための
コミュニティ平和構築事業 第1期

- | | |
|---|--------------------------|
| 11. 早期警戒・早期対応（EWER）の活動を行っている女性視点の治安調査メンバー（WSAM） | 12. 日本人スタッフも交えた事業内容会議の様子 |
|---|--------------------------|